



# 覚満淵通信

赤城山の自然保護活動

推進協議会

第 9 号

2016年11月5日発行

## 第9回ササ刈り活動が実施されます

覚満淵の草紅葉（くさもみじ）や紅葉の賑やかな季節が過ぎ、朝日にキラキラと輝く霜の美しさに目を奪われる最近の覚満淵は、白い息と頬に触れる凍てつく空気から、すぐそこに冬が来ていることを教えてくれます。今年もその寒さに負けず、11月5・6日に、覚満淵の植生復元のためのササやススキの刈り取り作業が実施されます。来年も覚満淵に多くの花を咲かせることができるように、皆様のご協力をお願いいたします。

11月5日（土）・・・刈り払い機による草刈り作業

11月6日（日）・・・手鎌による草刈りと搬出作業



今年の覚満淵のようす  
皆さんご覧になりましたか？



## その他の作業報告

### 防鹿柵保守作業 報告者：泉川 斌

今年度は、5月の柵上げから10月まで、既に22回の点検・保守を行っています。昨年度と比べると柵へのアタックは少ないようで、昨年度は点検中に5回、シカを柵内で目撃していますが、今年度はまだ目撃はありません。ただ、足跡・糞・食痕等を柵内で目撃しているの、柵内に入りこんでいる事は間違いないようです。

また今年度は新たに、柵飛び越え防止用のトラロープの設置（500m）・柵食いちぎり防止用に鉄柵の設置（一部）をおこないました。

柵の点検・保守は、根雪になるまで、まだしばらく続きます。



柵の点検の様子



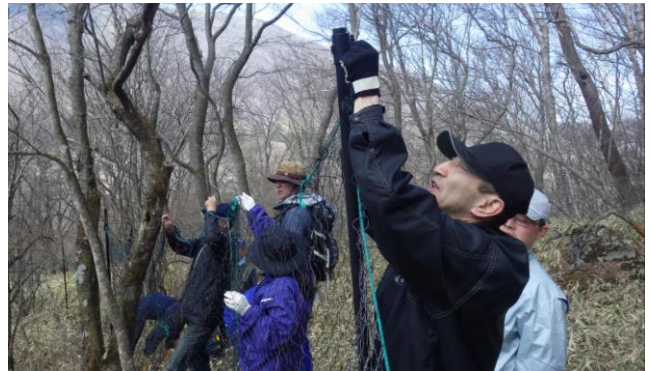
従来の柵の上に設置した飛び越え防止用ロープ



柵食いちぎり防止用鉄柵

### 柵あげ作業 報告者：春山 明子

覚満淵を囲う防鹿柵は、積雪による倒壊を防ぐため、毎年、降雪に合わせてネットを外しています。今年度は4月20日に、ネットを再び設置する柵あげ作業をおこないました。作業は自然を愛する地元住民の協力を得て無事におこなうことができました。年々皆さんが作業に慣れてきており、とてもスムーズに作業をおこなうことができました。



### 正面ゲートの交換作業 報告者：坂庭 浩之

覚満淵の入り口ゲートは、平成20年にシカが内部に入らないように全周1.5kmを地元の人の協力で囲った際に簡易に設置したままになっていました。

垂らしたネットにザックが引っかかったり、団体の通行がしにくいと不評でした。そのため、自然に触れ合える園にふさわしい顔にすべく、7月14日に一新しました。引き戸のゲートは、車いすでの利用も想定し歩道幅いっぱいまで開口するよう設計しました。

交換作業は荻原雪雄さん、塩原一男さんの協力を得ておこないました。

覚満淵は自然を身近に感じられる貴重な場所です。障害者を含め多くの皆さんの来場を期待しています。



入口は開けたら閉めてください

作成者：泉川 斌（ぐんま森林インストラクター会）坂庭 浩之（群馬県林業試験場）

春山 明子（榊群馬野生動物事務所） 発行元：NPO 法人赤城自然塾

表題の写真：トネアザミ（葉に白い斑が入っているのが特徴的なアザミです）